

流動比率

2022年度の流動比率（全産業・全規模）は153.2%
※製造業（全規模）156.5%、非製造業（全規模）151.9%

（1）財務指標の説明

流動比率とは、流動資産（1年以内に現金化が予定される資産）の流動負債（1年以内に支払いを要する負債）に対する割合を言い、企業の短期的な債務の支払能力を見る尺度です。

流動比率が高い場合は、短期的に返済すべき債務に対して、比較的早期に現金化を図ることができる資産が多いことを示しており、短期的な債務の返済能力があると言えます。

$$\text{流動比率(\%)} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

貸借対照表

| 資産の部 | 負債の部 |
|---------------|---------------|
| I 流動資産 | I 流動負債 |
| II 固定資産 | II 固定負債 |
| III 繰延資産 | |
| | 純資産の部 |
| | I 株主資本 |
| | II 評価・換算差額等 |
| | III 新株予約権 |
| 資産合計 | 総資本（負債・純資産合計） |

損益計算書

| |
|----------|
| I 売上高 |
| II 売上原価 |
| 売上総利益 |
| III 販管費 |
| 営業利益 |
| IV 営業外損益 |
| 経常利益 |
| V 特別損益 |
| 税引前当期純利益 |
| VI 法人税等 |
| 当期純利益 |

(2) グラフで見る最近の動き

2022年度は、製造業、非製造業とも流動資産の対前年度増加率が流動負債の増加率を上回ったことから全産業で見た流動比率は前年度比で上昇しています。

